

## 長期ビジョンを描く



八王子商工会議所  
会頭 田辺 隆一郎

まちづくりは行政だけが行うものでなく、官と民の共同作業として取り組むことが重要であります。  
さらにまちづくりは30年、50年の未来を見すえた長期ビジョンを描くことが求められ、その担い手は我々経済界です。  
そこで八王子商工会議所として、長期的視点に立った八王子のまちづくりを三つの「戦略的拠点地域」と「八王子の特性を生かしたまちづくり」にポイントを絞り提案します。

### ● 戦略的拠点地域

#### 1. JR八王子駅周辺まちづくり構想

八王子の核・顔づくりとして、南北の調和がとれた利便性の高い都市施設の構築

#### 2. 中央道インター北地域周辺の有効活用

中央道・国道16号、さらに圏央道のアクセス道路である新滝山街道が交わる加住・左入地区は、八王子市の将来にとって最も期待される地域

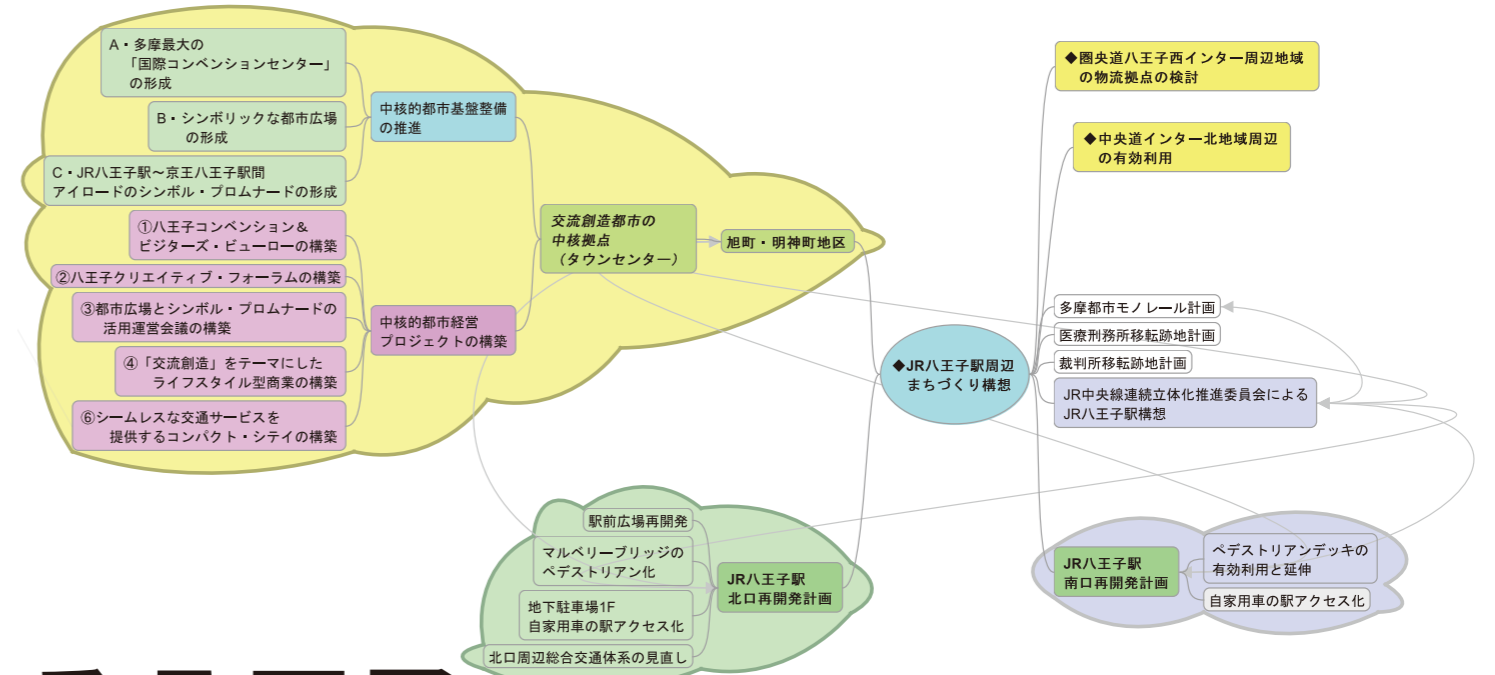
#### 3. 圏央道八王子西インター周辺地域

八王子の西の玄関口であり、物流拠点として位置づけられた地域

### ● 八王子の特性を生かしたまちづくり

八王子の持つ豊かな自然、長い歴史、伝統文化などの特性を生かしたまちづくり

## JR 八王子駅周辺まちづくり構想関連俯瞰図



# 動きつつある八王子



## 旭町・明神町地区のまちづくり 「八王子の新しいシンボル拠点」の創造

多摩シリコンバレー構想の推進拠点として東京都が新たに整備する「産業交流拠点」形成を、八王子活性化の千載一遇のチャンスと捉え、旭町地区と明神町地区の開発を主導する八王子市と真に協働して、東京・多摩地域を代表する「中核都市=八王子」の顔となるまちづくりを目指し、「ひと」と「まち」と「産業」が共に活性化するための新たな「タウンセンター」の創造にチャレンジします。

### ● 3つのハード戦略

- A. 多摩最大の「国際コンベンションセンター」の形成
- B. 八王子の交流の顔となるシンボリックな「都市広場」の形成
- C. JR八王子駅と京王八王子駅を結ぶ「シンボル・プロムナード」の形成

### ● 5つのソフト戦略

- ① 八王子コンベンション&ビジャーズ・ビューローの構築
- ② 八王子クリエイティブ・フォーラムの構築
- ③ 都市広場とシンボル・プロムナードの活用運営会議の構築
- ④ 「交流創造」をテーマにしたライフスタイル型商業の構築
- ⑤ シームレスな交通を提供するコンパクト・シティの構築